

〈研究授業報告〉

第七十二回研究授業を終えて

稲築志耕館高校 山田 桃子

三 研究授業（本時）の流れ

- 3 他者の意見をもとに草稿を再考する。清書し押印する。

今年度、稲築志耕館高校におきまして第七十二回研究授業をさせていただきました。今回は、「漢字の書 楷書創作」意図に基づいた表現」と単元を設定し、鑑賞活動を充実させるため、着目するポイントを明確に提示し、鑑賞グループを観点ごとに組みなおしました。他者に思いを伝えることに対して、どの生徒も取り組みやすくなるよう、鑑賞活動を工夫した授業を検討しました。

一 概要

実施学校 福岡県立稲築志耕館高等学校

実施日時 令和六年十一月十三日 水曜日三・四限

実施学級 一年次三・四組 十九名

単元名 漢字の書 楷書創作「意図に基づいた表現」

本単元までの流れ

- 1 書写と書道の違い（書道「導入」）
- 2 篆刻
- 3 漢字の書

① 楷書の学習と倣書

【九成宮醴泉銘、雁塔聖教序、顔氏家廟碑、牛橛造像記（臨書・倣書）、鄭義下碑（臨書・倣書）】

② 行書の学習【蘭亭序、風信帖】

二 本単元の流れ

- 1 これまでに学習した楷書古典の特徴と、その古典の印象を振り返り、選んだ二字熟語に合う楷書古典を選び、半紙に一字ずつ倣書する。
- 2 「表現の工夫ポイント」（墨の潤濁、文字の大小、線の太細）を工夫

（一）前時の振り返り

・前時に各自で決めた二字熟語と、表現したい印象を学習プリントで振り返り、表現意図に合わせて選択した楷書古典の特徴を再度確認する。

・前時の最後に書いた試し書き（半切1/2サイズ、選んだ楷書古典の特徴を取り入れた二字熟語）から、表現したい印象が伝わるかどうか問い、生徒は古典の特徴を取り入れた二字をただ紙に配置するだけでは、表現したい印象が伝わらないことに気づく。

（二）「表現の工夫ポイント」の確認と構想

・前単元で学習した行書を振り返り、意図に基づき表現するには、①墨の潤濁②文字の大小・線の太細、さらに紙面構成の表現に変化をつける必要があることに気づく。

・「表現の工夫ポイント」をもとに、学習プリントに構想を立てる。

（三）中間作品①制作

・構想をもとに、「表現の工夫ポイント」を筆で大胆に表現し、二枚のうち良い一枚を中間作品①とする。

（四）相互鑑賞に向けての作品紹介

・①古典の特徴について②「表現の工夫ポイント」等について、筆で表現する際に意識したことや、できた点について学習プリントにまとめ、鑑賞の際、自分の作品について文章で紹介ができるようにまとめておく。

（五）相互鑑賞会

・一回目の鑑賞【楷書古典の特徴について】
同じ楷書古典を選択した生徒同士でグループを作り、古典の特徴をも

とに、用筆・運筆や字形等について鑑賞を行う。一人目が作品を紹介し、他の班員は、良い点を赤の付箋に、アドバイスを黄色の付箋に記入し、言葉で相手に伝え、付箋も渡す。貰った付箋は中間作品①に貼る。

・二回目の鑑賞【「表現の工夫ポイント」について】
ポイントの工夫の仕方が近い生徒同士でグループを作り、一回目の鑑賞同様、自己の作品紹介、相手へのアドバイスをを行う。

(六) 中間自己評価

・次時の清書に向け、今回成長した点や貰ったアドバイスをもとに改善できる点を文章でまとめる。



四 研究授業を終えて

今回の研究授業では、一回の鑑賞活動で観る観点を絞り、色別の付箋を用いて意見をまとめることで、言語化が苦手な生徒でも、相手に思いを伝える活動に主体的に取り組むことができると考えました。授業を通して、日頃の授業では気持ちを伝えることが苦手な生徒も、発言しやすい環境になったように感じます。また、いつもは鑑賞時に何を観てよいのか分からない生徒も観点を絞ったことで思考し、発言することができていました。反省点としては、授業後の協議会でも意見をいただいた通り、鑑賞会前後の作品にあまり表現の変化がなく、数名が潤渇や大小の変化を強調しただけにとどまったことです。これは、一学期からの楷書古典の学習で、授業者が古典を通してどのような表現方法や表現効果を習得させるかという点が明確でなかったため、生徒が印象や意図と、表現方法の結びつきのイメージできていなかったことが原因だと考えます。来年度以降、古典知識の習得にとどまらず、幅広い技能の定着も図っていききたいと思っています。

五 おわりに

今回、研究授業を行うにあたり、多くの先生方に一年間を通してご尽力いただきました。常に同じ目線に立って考え、一緒に悩んで解決策を模索していただきました。関わってくださった先生方のお力がなければ、授業できていなかったと感じています。指導と評価の一体化やテーマに合わせた効果的な指導法など、私自身新たな学びも多く、改めて、謙虚に誠実に、書道教育に向かう姿勢の大切さを実感しました。また、当日は多くの先生方に参観していただきました。検討から携わっていただいた先生方をはじめ、参観いただいた全ての先生方に感謝し、報告とします。